

〈事業説明資料〉

教育総務部 教育総務課

担当 課長 関根

直通 048-996-4281

E-mail:kyoikusomu@city.yashio.lg.jp



小中学校の施設整備

1 目的

市立小中学校施設の多くが昭和40年代後半から50年代にかけて建設され、今後一斉に更新時期を迎えつつあることから、施設の計画的な維持管理及び更新の推進を図るため、学校施設の長寿命化計画を策定する。

また、大原中学校の特別教室棟については、建設から30年以上が経過し、建物の老朽化が進行していることから、安全性の向上及び教育環境の改善を図るため、大規模改修工事を実施する。

2 予算額

- (1) 小中学校長寿命化計画策定関係 15,731千円
- (2) 大原中学校大規模改修工事関係 282,646千円

3 事業概要

(1) 八潮市学校施設長寿命化計画策定支援業務委託

- ① 契約期間：令和元年11月25日～令和3年2月26日（契約済）
- ② 業務内容：長寿命化計画策定に係る調査、検討等の支援 等

(2) 大原中学校特別教室棟大規模改修工事

- ① 契約期間：令和2年6月～11月（予定）
- ② 改修内容：屋上防水改修、外壁改修、内装改修、トイレ改修 等

〈事業説明資料〉

市民活力推進部 市民協働推進課
担当 課長 峯
直通 048-996-2016
E-mail:shiminkyodo@city.yashio.lg.jp



「八潮市多文化共生推進プラン」の策定

1 目的

市内には、50 カ国3,916人の外国人市民の方が暮らしており（令和2年1月1日現在）、今後も増加することが予想される。

そこで、日本人市民と外国人市民が互いの国の文化や習慣などの違いを理解し、地域社会の一員として支え合い、共に歩む地域づくりなどを進めるため「八潮市多文化共生推進プラン」を策定する。

2 予算額

5,182千円

3 事業概要

八潮市多文化共生推進プランの策定

昨年8月に実施した外国人市民意識調査の結果などを参考にするとともに、学識経験者や団体代表、公募市民を構成員とした「八潮市多文化共生推進プラン策定委員会」を設置し、令和2年度中の策定を目指す。

【参考 外国人市民意識調査について】

- ・ 実施時期：令和元年8月1日から20日
- ・ 対 象：市内在住で満18歳以上の外国人市民 1,300人
(中国語、ベトナム語、英語にやさしい日本語を併記して作成)
- ・ 回 答 数：518人 (回収率：39.8%)
- ・ 主な設問：生活で困っていることについて、災害への備えについて、日本人との交流について、等

〈事業説明資料〉

健康福祉部 健康増進課

担当 課長 大出

直通 048-995-3381

E-mail: kenkozosin@city.yashio.lg.jp



新生児聴覚スクリーニング検査費用助成事業

1 目的

子どもの聴覚障がい早期発見し、早い段階で適切な療育を受けられるよう、出生後早い時期に新生児聴覚スクリーニング検査を受けることが望ましいとされている。そこで、経済的な負担により検査を受けることができない家庭に対し、検査費用を助成し負担の軽減を図る。

2 予算額

207千円

3 事業概要

低所得者に対する新生児聴覚スクリーニング検査費用の助成

新生児聴覚スクリーニング検査を受けた者のうち、住民税非課税世帯等の低所得者に対し、検査に係る費用として、5,000円又は3,000円を限度として助成する。

母子健康手帳交付時やこんにちは赤ちゃん訪問等で周知を図り、令和2年4月1日以後に受けた聴覚検査から適用し、4月から申請を受付ける。

見込人数：40人（出生800人×5%）

助成の対象となる検査：(1) 自動聴性脳幹反応検査（自動ABR）

(2) 聴性脳幹反応検査（ABR）

(3) 耳音響放射検査（OAE）

助成額：(1)及び(2)・・・上限5,000円

(3)・・・上限3,000円

〈事業説明資料〉

市民活力推進部 スポーツ振興課

担当 課長 馬場

直通 048-996-5126

E-mail:sports@city.yashio.lg.jp



ハッピーごまちゃん®

トップアスリート奨励金制度の創設

1 目的

スポーツの国際大会に参加する選手等に対して市が奨励金を支給することで、トップレベルを目指したいというモチベーションをより一層高め、八潮市から世界を目指すトップアスリートの発掘・育成につなげる。

2 予算額

200千円

3 事業概要

スポーツの国際大会に参加する選手等への奨励金の支給

出場大会当日に市内に住所を有する者、または市内に拠点を有する団体が、国際大会に参加する際に市が奨励金を支給する。金額等は次のとおり。

大会種別	奨励金額	
	個人	団体(チーム)
オリンピック、ユースオリンピック、パラリンピック	50,000円	100,000円
国際大会	30,000円	100,000円
世界規模の大会で特に市長が認めた大会	20,000円	40,000円

※ 支給対象となる国際大会の例：世界選手権大会、アジア大会、アジアパラ大会等

【参考】過去3年間における市内居住者等の国際大会出場実績

年	個人	団体
H30	2名	—
H29	1名	—
H28	—	—

〈事業説明資料〉

子育て福祉部 子育て支援課
 担当 課長 千葉
 直通 048-996-2694
 E-mail:kosodate@city.yashio.lg.jp



病後児保育施設の運営

1 目的

就労等により保護者が病気回復期の児童を自宅で保育することが困難な場合に対応するため、一時的な保育・看護を行う病後児保育事業を開始し、本市の子育て環境の更なる充実を図る。

2 予算総額

【病後児保育事業】

15,274千円（事業委託）
 運営補助：〔国・県・市〕1/3

【小規模保育事業】

510,805千円（既存の事業への補助金を含む）
 運営補助：〔国〕55.2/100 〔県・市〕22.4/100

3 事業概要

新たに開所する小規模保育併設型の病後児保育事業への補助等

令和2年4月1日から新たに開所する小規模保育事業所及び病後児保育事業に運営補助金等を交付する。施設の詳細は次のとおり。

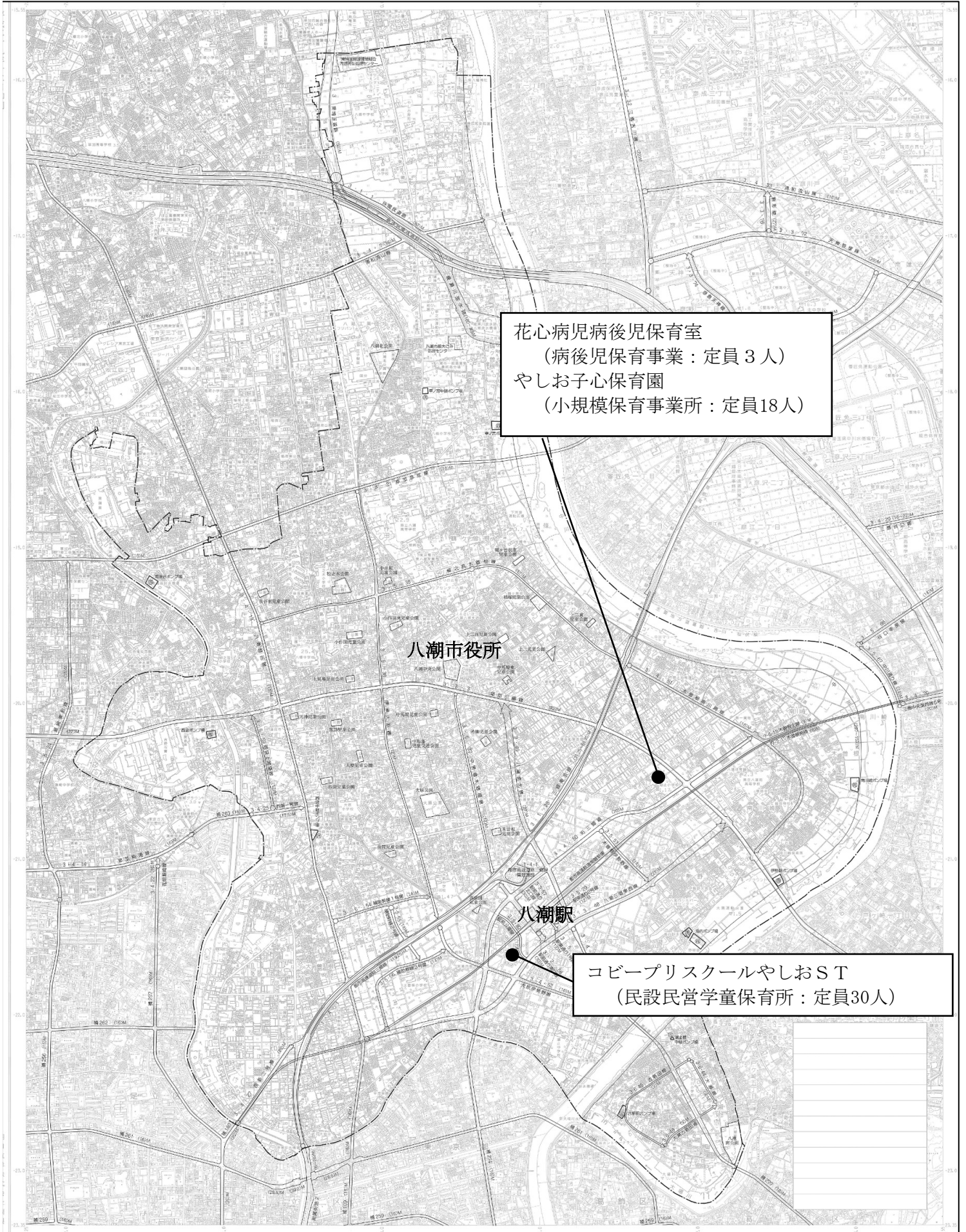
種 類	病後児保育事業	小規模保育事業所
名 称	（仮称） ^{ハナククル} 花心病児病後児保育室	（仮称） ^{ユククル} やしお子心保育園
所在地	八潮市二丁目1068番地1	
定 員	3人（小学3年生以下）	18人（0～2歳児各6人）
開所日時	年未年始及び祝日を除く月曜から金曜日の8:00～18:00	平日：7:30～19:30
		土曜日：7:30～18:30

4 添付資料

令和2年4月1日に開所する病後児保育小規模保育併設施設及び学童保育所位置図（参考資料5・6共通）

添付資料 (参考資料5・6関係)

令和2年4月1日に開所する病後児保育小規模保育併設施設及び学童保育所位置図



〈事業説明資料〉

子育て福祉部 子育て支援課
 担当 課長 千葉
 直通 048-996-2694
 E-mail:kosodate@city.yashio.lg.jp



学童保育所の充実

1 目的

八潮駅周辺の住環境整備の進捗に伴う子育て世代の流入や、女性就業率の上昇などから学童保育需要が増加傾向にあるため、新たに民設民営学童保育所を開所し、学童保育需要の増加に対応する。

2 予算総額

【学童保育所管理運営事業】

141,876千円（既存の施設への補助金を含む）
 運営補助：〔国・県・市〕1/3

3 事業概要

新たに開所する学童保育所への補助等

令和2年4月1日から新たに開所する学童保育所1施設に運営補助金を交付する。施設の詳細は次のとおり。

施設名称	(仮称) コピーアフタースクールやしおST	
施設所在地	八潮市茜町一丁目1番地4	
定員	30人 (大瀬・大曾根小学校児童1年生から6年生)	
開所日時	平日	放課後～19:30
	土曜日	8:00～18:30
	長期休業日	8:00～19:30

4 添付資料

令和2年4月1日に開所する病後児保育小規模保育併設施設及び学童保育所位置図（参考資料5・6共通）

〈事業説明資料〉

生活安全部 危機管理防災課

担当 課長 向

直通 048-996-2868

E-mail:k-bosai@city.yashio.lg.jp



移動系防災行政無線の整備

1 目的

災害発生時等に災害現場や避難所などとの情報通信手段の確保のため、移動系防災行政無線のデジタル化を進める。

2 予算額

113,445千円

3 事業概要

移動系防災行政無線の設備の更新

災害時の通信手段である移動系防災行政無線設備は、平成2年度から運用しており、機器の老朽化が著しい状況である。

また、平成17年12月の無線設備規則改正により、新規則に適合していない無線設備については、令和4年11月30日までに機器の更新などを行わなければならない。

これらのことから、令和2年度に次のとおり対応するものである。

- | | |
|-------------------|----------|
| (1) 基地局の更新工事 | 80,665千円 |
| (2) 車載無線機の購入(24台) | 13,838千円 |
| (3) 携帯無線機の購入(41台) | 18,942千円 |

八 潮 市

令和2年2月27日

〈事業説明資料〉

市民活力推進部 商工観光課
 担当 山内
 電話 048-996-2111 (内832)
 E-mail:shokokanko@city.yashio.lg.jp



中川やしおフラワーパークの維持管理

1 目的

本市の重要な観光施設である「中川やしおフラワーパーク」における、季節に応じた草花等の管理について、新たに（一社）八潮市観光協会が行うことに対し補助金を交付し、さらなる観光の振興を図る。

2 予算総額

5, 9 2 8 千円 $\left[\begin{array}{l} \text{既存事業分} \quad 1, 6 8 1 \text{ 千円} \\ \text{新規事業分} \quad 4, 2 4 7 \text{ 千円} \end{array} \right]$

3 事業概要

（一社）八潮市観光協会への補助金の拡充

国から包括占用の許可を受け設置された「中川やしおフラワーパーク」の花畑の維持管理については、地域のボランティアの方々が担ってきた。

こうした中、（一社）八潮市観光協会が、観光施設としての魅力を高めるため、新たにパーク内の草花等の維持・管理を全面的に担うことに伴い、市が同協会に必要な経費を対象に補助金を交付する。

【参考】 （一社）八潮市観光協会の既存事業について
農商工連携体験型観光事業（令和元年度～）

市民の方が農業体験で栽培・収穫した八潮産じゃがいもを使い、八潮市内の工場で製造したポテトチップをイベント時に限定販売する。

〈事業説明資料〉

都市デザイン部 都市計画課
担当 課長 内海
直通 048-996-3904
E-mail:toshikeikaku@city.yashio.lg.jp



北部拠点まちづくり事業の推進

1 目的

市では、北部拠点のまちづくりを進めるうえで、重要な施設である（仮称）外環八潮パーキングエリア接続型の（仮称）外環八潮スマートインターチェンジの整備に向けた検討と併せ、スマートインターチェンジのアクセス道路となる（仮称）入谷東西線の整備に向けた検討を進めている。

今回の検討では、（仮称）入谷東西線に関する交差点形状等の検討を行う。

2 予算総額

8, 542千円

3 事業概要

（仮称）外環八潮スマートIC周辺交差点等形状の検討

スマートICのアクセス道路として検討している（仮称）入谷東西線に新設する交差点等の形状や既存交差点周辺の交通安全対策の検討を実施する。

【主な業務内容】

①交差点等の形状検討

- ・（仮称）入谷東西線の本線及びスマートIC周回道路、県道平方東京線との新設交差点等の形状検討を実施する。

②交通安全対策の検討

- ・上記交差点が新設された場合の県道平方東京線上の近接交差点及び歩道等の安全性の確認や交通安全対策について検討を行う。

4 添付資料

まちづくり方針図（北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画抜粋）

6 まちづくり方針図

前述の「4 道路交通の方針」及び「5 土地利用の方針」を合わせ、まちづくり方針図として示します。

■道路交通の方針

《通過交通や新たに立地する施設からの発生交通を処理する道路》

主に東埼玉道路、外環状道路及び浦和流山線は、「通過交通や新たに立地する施設からの発生交通を処理する道路」とし、県道平方東京線への車両の流出の抑制を目指します。

《生活環境に配慮すべき道路》

主に県道平方東京線は、「生活環境に配慮すべき道路」とし、周辺住民の良好な生活環境を保全するため、通過交通や新たに立地する施設からの発生交通の流入抑制を目指します。

《歩行者及び自転車の安全性に配慮すべき道路》

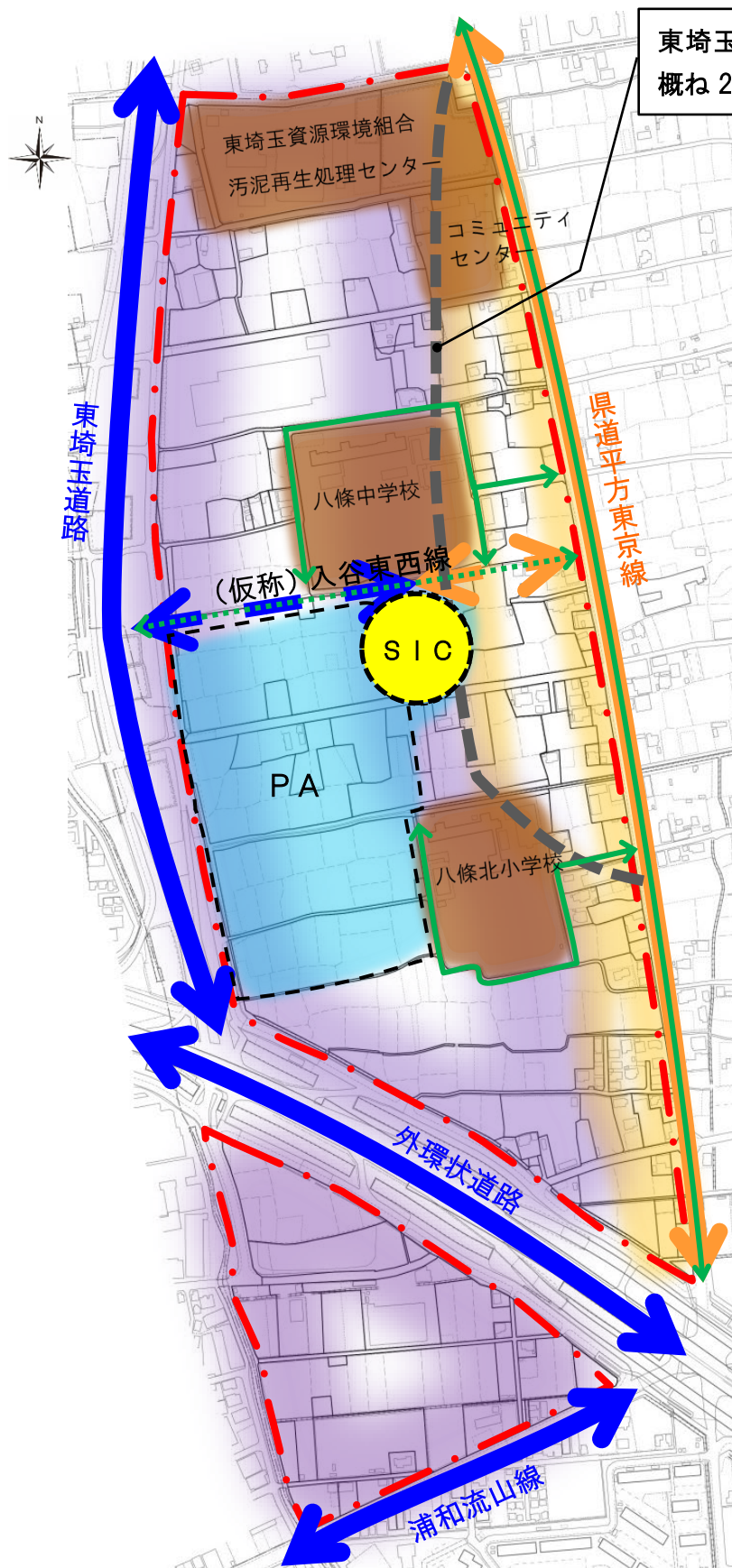
主に通学路に指定されている県道平方東京線と八條北小学校及び八條中学校の周辺道路は、「歩行者及び自転車の安全性に配慮すべき道路」とし、歩行者、自転車の安全性の確保を目指します。

《（仮称）入谷東西線の交通処理》

（仮称）入谷東西線は、「生活環境に配慮すべき道路」である県道平方東京線並びに「歩行者及び自転車の安全性に配慮すべき道路」との車両の流入を抑制し、良好な生活環境と教育環境の保全を目指します。

また、近隣に小中学校があることから、児童、生徒、自転車の通行及び周辺住民の安全、安心に配慮した道路空間の確保を目指します。

凡 例	
	産業誘導ゾーン
	パーキングエリア及びスマートインターチェンジゾーン
	公共施設ゾーン
	環境調整ゾーン
	通過交通や新たに立地する施設からの発生交通を処理する道路
	生活環境に配慮すべき道路
	歩行者及び自転車の安全性に配慮すべき道路



東埼玉道路、外環状道路から概ね 250mのライン

■土地利用の方針

《産業誘導ゾーン》

「通過交通や新たに立地する施設からの発生交通を処理する道路」である、東埼玉道路、外環状道路及び浦和流山線から概ね 250m以内のエリアを「産業誘導ゾーン」とし、産業施設の立地の誘導を目指します。

また、隣接する「公共施設ゾーン」及び「環境調整ゾーン」に配慮した緑豊かでゆとりのある景観の形成を目指します。

《パーキングエリア及びスマートインターチェンジゾーン》

（仮称）外環八潮パーキングエリアの整備が計画されているエリア及び（仮称）外環八潮スマートインターチェンジの整備が検討されているエリアを「パーキングエリア及びスマートインターチェンジゾーン」とし、（仮称）外環八潮パーキングエリアは、周辺環境に配慮した高速道路利用者以外も利用できる、地域に開かれた利便性、防災性の高い施設としての活用を目指します。

また、商業施設（（仮称）外環八潮パーキングエリアの施設等）を立地する際は、周辺環境への配慮を目指します。

《公共施設ゾーン》

八條北小学校、八條中学校、コミュニティセンター及び東埼玉資源環境組合汚泥再生処理センターが立地するエリアを「公共施設ゾーン」とします。このゾーンで建て替え及び用途変更、また、新たな公共施設を建築する際は、周辺環境の保全を目指します。

《環境調整ゾーン》

多くの住宅や店舗等が立地している県道平方東京線沿道を「環境調整ゾーン」とし、生活環境の保全を目指します。

P A：（仮称）外環八潮パーキングエリア

S I C：（仮称）外環八潮スマートインターチェンジ

※（仮称）外環八潮パーキングエリア、（仮称）外環八潮スマートインターチェンジ及び（仮称）入谷東西線については未整備のため、引き続き関係機関と調整を図ります。

〈事業説明資料〉

都市デザイン部 都市計画課
担当 課長 内海
直通 048-996-3904
E-mail:toshikeikaku@city.yashio.lg.jp



都市計画道路網構想の見直し

1 目的

本市の都市計画道路網構想は、平成2年度に策定し、その後、平成23年度に、道路のネットワーク等に関する一部見直しを行ってきた。

今回、社会経済情勢や本市をめぐる環境の変化を踏まえ、令和2年度から2か年をかけて見直しに取り組むこととし、令和2年度は、平成30年度の東京都市圏パーソントリップ調査(第6回)の最新の交通データを活用して、都市計画道路の構想路線等を含む再配置や整備優先度等の検討を行う。

2 予算総額

6,083千円

(令和3年度分については、10,780千円の債務負担行為を設定)

3 事業概要

現行の都市計画道路網構想の見直しに向けての検討及び調査の実施

①交通実態等の把握と課題整理

- ・社会経済情勢や交通実態について把握するとともに、交通体系を整備する上での課題の整理を行う。

②将来交通量予測のための条件検討

- ・将来交通量の予測に必要な将来人口、将来道路ネットワーク、交通量配分などの諸条件を検討し、必要なデータの収集を行う。

〈事業説明資料〉

生活安全部 交通防犯課

担当 課長 栗原

直通 048-996-2928

E-mail:kotsubohan@city.yashio.lg.jp



地域公共交通網形成計画の作成

1 目的

「日常生活の交通手段の確保」や「高齢者、障害者等の円滑な移動」など地域の実情に即した持続可能な公共交通網の構築を目的に、令和元年度と令和2年度の2か年を掛けて、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく「地域公共交通網形成計画」を作成する。

2 予算総額

11,851千円

3 事業概要

地域公共交通網形成計画の策定

公共交通事業者、道路管理者、警察、利用者、市民、学識経験者などで構成する八潮市地域公共交通協議会を組織して計画を作成する。

令和元年度は、地域の現状・特性、公共交通の概況、ニーズなどを把握するため、アンケート調査、利用実態調査、関係者・関係団体へのヒアリング、地域会議などを実施した上で、課題・問題点を整理し、計画の基本的な方針を定めた。

令和2年度は、課題等への対策を検討しながら計画を策定し、目標や成果指標を設定するとともに、目標達成のための事業や達成状況の評価を含め、実効性のある計画とする。

八 潮 市

令和2年2月27日

〈事業説明資料〉

建設部 下水道課
担当 課長 岡田
電話 048-996-2111 (内261)
E-mail: gesuido@city.yashio.lg.jp



古新田ポンプ場の増築工事

1 目的

水害に対する安全性が高いまちを目指すため、雨水排水ポンプ施設の機能向上を図る。

2 工事箇所

八潮市垢20番地（大瀬古新田土地区画整理事業地内）

3 予算額

357,000千円

（令和2年度からの4か年事業であり、総事業費は1.8億円を予定）

4 事業概要

雨水ポンプ施設の機能向上（増築工事）

古新田排水区（面積5.6ha）における治水対策の推進を図るため、現状2台のポンプ総排水量1.5m³/sから、1台のポンプ増築により、3.8m³/sへ機能向上する。

〈事業説明資料〉

企画財政部
アセットマネジメント推進課
担当 課長 宇田川
直通 048-951-2334
E-mail:chosha-seibi@city.yashio.lg.jp



新庁舎の整備

1 目的

昭和46年に建てられた本庁舎棟及び議会棟は、東日本大震災を契機として実施した耐震診断において、震度6、7の大震災が発生した場合、倒壊又は崩壊の危険性が高いと判断された。

これを受けて、市では平成28年度に庁舎の建替えにより耐震化を図ることを決定し、検討を進めてきた。

令和2年度は「八潮市庁舎建設基本設計」を踏まえ、実施設計を実施し、令和3年度の着工に向け、関連業務に取り組んでいく。

2 予算総額

526,579千円

3 事業概要

(1) 新庁舎建設工事に係る実施設計（新規） 171,088千円

新庁舎建設に向け、「八潮市庁舎建設基本設計」を踏まえ、具現化に向けた実施設計を実施する。

(2) 別館庁舎解体工事の実施等（新規） 94,836千円

新庁舎建設工事に伴う工事ヤード確保に向けた別館庁舎の解体工事と、別館仮設庁舎の借上げ・移転等を実施する。

(3) 庁舎整備基金の積立 200,655千円

平成27年度から実施している基金への積み立てを継続して行う。

※令和元年度末基金見込み残高：約18億円

(4) 仮設駐車場等の整備工事（新規） 60,000千円

新庁舎建設に伴い、八潮中央公園の一部を仮設駐車場とする整備を行う。